



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 上場取引所 東  
コード番号 9218 URL <https://mh-tec.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 刀禰 真之介  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業開発・M&A室 (氏名) 松浦 優 TEL 03 (6277) 6595  
室長兼コーポレート本部担当  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	869	25.7	△235	—	△273	—	△285	—
2023年12月期第1四半期	691	20.5	137	△18.1	134	△10.2	97	△20.2

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △285百万円 (—%) 2023年12月期第1四半期 97百万円 (△20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△28.29	—
2023年12月期第1四半期	9.89	9.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,291	1,021	19.3
2023年12月期	1,733	1,115	64.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 829百万円 2023年12月期 1,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,495	91.3	△13	—	△59	—	△131	—	△13.21
通期	5,816	123.0	400	△20.2	338	△31.8	163	△63.1	16.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社タスクフォース、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	10,107,300株	2023年12月期	10,107,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	64株	2023年12月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	10,107,236株	2023年12月期 1 Q	9,868,433株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

当社の第1四半期決算補足説明資料につきましては、2024年5月15日（水）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、元日に発生した能登半島地震や、一部自動車メーカーの認証不正問題による生産・出荷停止の悪影響があったものの、好調な観光産業やインバウンド消費などによって3月には景気の上向き傾向が見られました。

このような状況のなかで、当社グループは2024年2月29日に株式会社タスクフォースの全株式を取得し子会社化して、メディカルワークシフト事業（医療機関を対象とした人材サービス）へ進出いたしました。2024年4月から導入される医師の時間外労働上限規制によって医療現場での人材不足が予想されており、医療職が専門性の高い業務に集中できる環境の整備が求められております。同社は、医療現場における看護補助者を活用した医療専門職のタスクシフト・タスクシェアを推進しており、エッセンシャルワーカーの労働力ニーズの高まりによる業容の拡大を見込んでおります。同社は、大規模急性期病院向け看護補助者の人材サービスに強みを持っており、当社グループの持つクリニック支援サービスとの相乗効果を図って参ります。

これを踏まえ、メンタルヘルスソリューション事業とメディカルワークシフト事業を2つの成長エンジンとし、2027年12月期において連結売上高100億、営業利益20-25億円を達成目標とする「中期経営計画MHT 100/20-25」を策定し、2024年3月27日公表の「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」の中で発表いたしました。

当第1四半期連結累計期間においては、2024年3月より株式会社タスクフォースを連結子会社化したことに伴い、同社の3月分の売上を計上いたしました。同社買収関連の一時経費及びのれんの償却費も計上しております。加えて、同社連結による売上高の増加により、2022年5月に付与した第11回新株予約権の行使条件達成の蓋然性が高まったため、株式報酬費用を計上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高869,359千円（前年同四半期比25.7%増）、営業損失235,807千円（前年同四半期は営業利益137,016千円）、経常損失273,087千円（前年同四半期は経常利益134,109千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失285,942千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益97,553千円）となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

なお、株式会社タスクフォースを連結の範囲に加えたことに伴い、同社の看護補助者人材サービスを新たなセグメント「メディカルワークシフト事業」として設定しております。また、報告セグメントの各グループ会社に営業費用として計上していたグループ会社の経営指導料を、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、調整額として全社費用に含める方法に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### a. メンタルヘルスソリューション事業

当第1四半期連結累計期間におけるメンタルヘルスソリューション事業においては、2022年12月に連結子会社化した「株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所」及び提携先企業との連携強化、大手企業向けのコンサルティング提案営業や既存顧客へのサービス追加による増額提案活動の推進などにより、着実に契約件数・売上高を伸ばしております。2022年9月に設立した株式会社ヘルスケアDXによるメンタルクリニック支援もサービス内容を拡充しつつあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高605,279千円（前年同四半期比20.8%増）、セグメント利益165,846千円（同47.5%増）となりました。

#### b. メディカルワークシフト事業

2024年2月29日付で株式会社タスクフォースを完全子会社とし、同社の看護補助者人材サービスを新たに「メディカルワークシフト事業」としてセグメントを設定いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、連結後の3月分のみを計上しており、233,060千円、セグメント利益は25,641千円となりました。

なお、前年同期は同社を子会社化しておりませんので、前年同期比較は記載しておりません。

#### c. メディカルキャリア支援事業

当第1四半期連結累計期間におけるメディカルキャリア支援事業においては、自治体における新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業がほぼ終了したことから、関連する売上高が減少しました。一方医師転職案件については、紹介先医療機関の掘り起こし等に注力し、売上回復を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高17,013千円（前年同四半期比89.9%減）、セグメント損失8,440千円（前年同四半期はセグメント利益90,744千円）となりました。

d. デジタルマーケティング事業

当事業年度より、デジタルマーケティング事業部をビジネス・インキュベーション部に改組し、グループ内のマーケティング支援活動及び新規事業開発を担うことといたしました。制作受注及びマーケティング支援事業に関する事業セグメントとしてはデジタルマーケティング事業を継続しております。

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルマーケティング事業においては、前連結会計年度に引き続き、受注制作に関して既存顧客の保守案件を安定的に受注する一方、グループ企業向けのマーケティングに事業部内のリソースを集中して参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高14,005千円(前年同四半期比34.3%減)、セグメント利益6,683千円(同64.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,558,057千円増加し、4,291,893千円となりました。これは主に株式会社タスクフォースの子会社化に伴い、のれんが2,071,621千円増加し、2,249,189千円となったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,652,076千円増加し、3,270,395千円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間に実行した資金借入によって1年内返済予定の長期借入金が増加し343,394千円となったこと、及び長期借入金が増加し2,091,032千円増加し2,303,493千円となったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ94,018千円減少し、1,021,497千円となりました。これは主に利益剰余金が285,942千円減少した一方、第11回新株予約権の行使の蓋然性が高まったことにより新株予約権を191,924千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想については、2024年2月29日付で株式会社タスクフォースの全株式を取得して連結子会社化したことにより影響を精査中であったため、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」においては未定としておりましたが、株式会社タスクフォースの2024年1月期及び2月の実績数値をもとに、連結業績予想の合理的な算定が可能になったことから、2024年3月27日に「2024年12月期業績予想に関するお知らせ」を公表しております。その後業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	913,714	1,062,614
売掛金	365,411	626,683
仕掛品	70	132
貯蔵品	2,414	2,499
前払費用	27,646	21,602
未収入金	30,685	32,498
その他	7	3,810
貸倒引当金	△4,324	△4,044
流動資産合計	1,335,626	1,745,797
固定資産		
有形固定資産		
建物	29,832	48,636
減価償却累計額	△1,881	△6,390
建物(純額)	27,951	42,245
工具、器具及び備品	20,395	24,847
減価償却累計額	△10,336	△13,209
工具、器具及び備品(純額)	10,058	11,637
有形固定資産合計	38,009	53,883
無形固定資産		
のれん	177,567	2,249,189
ソフトウェア	42,350	46,673
ソフトウェア仮勘定	36,595	43,644
無形固定資産合計	256,514	2,339,506
投資その他の資産		
出資金	31	131
長期前払費用	4,399	5,911
差入保証金	28,463	32,927
繰延税金資産	70,790	113,735
投資その他の資産合計	103,685	152,705
固定資産合計	398,209	2,546,095
資産合計	1,733,835	4,291,893
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	96,547	106,362
短期借入金	35,200	47,500
1年内返済予定の長期借入金	84,826	343,394
未払金	71,383	349,810
未払法人税等	57,065	11,758
未払消費税等	44,960	54,085
契約負債	9,449	12,666
預り金	5,526	36,198
賞与引当金	900	4,940
その他	—	185
流動負債合計	405,858	966,902
固定負債		
長期借入金	212,461	2,303,493
固定負債合計	212,461	2,303,493
負債合計	618,319	3,270,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,269	540,269
資本剰余金	531,349	531,349
利益剰余金	43,432	△242,509
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,114,973	829,030
新株予約権	543	192,467
純資産合計	1,115,516	1,021,497
負債純資産合計	1,733,835	4,291,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	691,565	869,359
売上原価	266,636	503,414
売上総利益	424,928	365,944
販売費及び一般管理費	287,912	601,752
営業利益又は営業損失(△)	137,016	△235,807
営業外収益		
受取利息	3	4
雑収入	15	70
営業外収益合計	18	74
営業外費用		
支払利息	911	5,346
新株予約権発行費	14	7
支払手数料	2,000	22,000
寄付金	—	10,000
営業外費用合計	2,925	37,354
経常利益又は経常損失(△)	134,109	△273,087
特別利益		
新株予約権戻入益	86	3
受取損害賠償金	2,016	—
特別利益合計	2,102	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	136,211	△273,084
法人税、住民税及び事業税	22,178	7,304
法人税等調整額	16,479	5,554
法人税等合計	38,657	12,858
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97,553	△285,942
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	97,553	△285,942

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97,553	△285,942
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	97,553	△285,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,553	△285,942
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事業	メディカル キャリア支 援事業	デジタルマー ケティング事 業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	501,011	169,245	21,307	691,565	-	691,565
外部顧客への売上高	501,011	169,245	21,307	691,565	-	691,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	-	23,127	23,427	△23,427	-
計	501,311	169,245	44,434	714,992	△23,427	691,565
セグメント利益	112,426	90,744	18,701	221,873	△84,857	137,016

(注) 1. セグメント利益の調整額△84,857千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事 業	メディカル ワークシ フト事業	メディカル キャリア ア支援事 業	デジタルマ ーケティ ング事業		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	605,279	233,060	17,013	14,005	869,359	-
外部顧客への売上高	605,279	233,060	17,013	14,005	869,359	-
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	-	-	13,009	13,159	△13,159
計	605,429	233,060	17,013	27,014	882,518	△13,159
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	165,846	25,641	△8,440	6,683	189,730	△425,538

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△425,538千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社タスクフォースを連結の範囲に加えたことに伴い、同社の看護補助者人材サービスを新たなセグメント「メディカルワークシフト事業」として設定しております。

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

従来、提出会社のグループ会社に対する経営指導料を、報告セグメントの各グループ会社の営業費用として計上していましたが、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、当第1四半期連結会計期間より調整額として全社費用に含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の計算方法によって作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社タスクフォースの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。これにより「メディカルワークシフト事業」において、のれんが2,082,635千円発生しております。

なお、のれんの金額は当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。